

目標達成計画

作成日: 平成 21年 10月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者に対して気づかないうちに言葉による抑制があり、結果的に利用者の行動を制限していた。言葉による拘束への配慮が必要である。	職員全員で身体拘束の意味を理解し、拘束のないケアを実践する。	職員全員が身体拘束における勉強会の機会を多く持ち、研修への参加も積極的に行うことで身体拘束の意味を理解し、職員全員の意識改善に努める。	6ヶ月
2	36	尿取りパットやリハビリパンツを他者に見えないように収納する配慮が必要である。	利用者の誇りを大切にプライバシーを確保する。	外部からの訪問や家族の面会時に、尿取りパットやリハビリパンツが見えないように衣ケースや箱を活用することで収納を工夫する。	6ヶ月
3	52	風呂場は広く浴槽が深い為、安全に配慮する必要がある。	利用者が安全且つ快適な入浴ができる環境作りをする。	入浴前の脱衣所での室温調整に配慮し、移動の際に必要な手摺りの設置や浴槽の深さに対して足置きを設置する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。